

RED／レッド (2010)

RED

メディア 映画

ジャンル アクション コメディ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 111分

初公開日 2011/01/29

公開情報 ディズニー

映倫 G

【キャッチコピー】

それは、アメリカが最も恐れた危険なオヤジたち…

【解説】

DCコミックスの人気グラフィック・ノベルを基に、「ダイ・ハード」シリーズのブルース・ウィリスをはじめ豪華キャストで実写映画化したアクション・エンタテインメント。突然古巣のCIAに命を狙われ始めた元エージェントが、真相を探るべく昔の仲間たちと反撃チームを結成し、巨大な陰謀に立ち向かうさまをコミカルに描く。共演に「ミリオンダラー・ベイビー」のモーガン・フリーマン、「バーン・アフター・リーディング」のジョン・マルコヴィッチ、「クイーン」のヘレン・ミレン。監督は「フライトプラン」のロベルト・シュヴェンケ。

かつてCIAの腕利きエージェントとして活躍したフランク。引退した今ではオハイオの田舎町で独り静かに暮らし、互いに顔も知らない役所勤めの独身女性サラと電話で会話することを唯一の楽しみにしていた。そんなある日、フランクの家に武装集団が侵入。しかし、フランクは難なく一味を仕留め、政府に全て監視されていたためサラの身の危険も察知し、はたして暗殺の危機から彼女を救い出すのだった。そして元上司ジョーのつてを借り、一連の原因を調べると、フランクの他9人の名が記された暗殺リストを発見。またそのリストにも挙げられ、フランクの同僚で宿敵でもあったマーヴィンにリストを見せると、10名は中米グアテマラでの特殊任務の関係者たちだと判明する。さらに人脈を利用してCIA本部に潜入し、事態の謎を解く鍵となる“グアテマラ文書”をまんまと手に入れるフランク。やがて元英国諜報局MI6の名狙撃手ヴィクトリアのもとに集ったフランクら歴戦の勇者たちは、全ての黒幕が政府と癒着した軍需企業だと知り、怒濤の反撃に転じるのだが…。

【クレジット】

監督	ロベルト・シュヴェンケ	Robert Schwentke
製作	ロレンツォ・ディボナヴェンチュラ	Lorenzo DiBonaventura
	マーク・ヴァーラディアン	Mark Vahradian
製作総指揮	グレゴリー・ノヴェック	Gregory Noveck
	ジェイク・マイヤーズ	Jake Myers
原作	ウォーレン・エリス	Warren Ellis
	カリー・ハムナー	Cully Hamner
脚本	ジョン・ホーバー	Jon Hoeber
	エリック・ホーバー	Erich Hoeber
撮影	フロリアン・バルハウス	Florian Ballhaus
視覚効果監修	ジェームズ・マディガン	James Madigan
プロダクションデザイン	アレック・ハモンド	Alec Hammond

衣装デザイン	スーザン・ライアル	Susan Lyall	
編集	トム・ノーブル	Thom Noble	
音楽	クリストフ・ベック	Christophe Beck	
音楽監修	ジュリアンヌ・ジョーダン	Julianne Jordan	
出演	ブルース・ウィリス	Bruce Willis	フランク・モーゼズ
	モーガン・フリーマン	Morgan Freeman	ジョー・マシス
	ジョン・マルコヴィッチ	John Malkovich	マーヴィン・ボッグス
	ヘレン・ミレン	Helen Mirren	ヴィクトリア
	カール・アーバン	Karl Urban	ウィリアム・クーパー
	メアリー＝ルイーズ・パーカー	Mary-Louise Parker	サラ・ロス
	ブライアン・コックス	Brian Cox	イヴァン・シモノフ
	ジュリアン・マクマホン	Julian McMahon	ロバート
	リチャード・ドレイファス	Richard Dreyfuss	アレクサンダー
	レベッカ・ピジョン	Rebecca Pidgeon	
	クリス・オーウェンズ	Chris Owens	
	アーネスト・ボーグナイン	Ernest Borgnine	
	ジェームズ・レマー	James Remar	
	ドミトリー・チェポヴェツキー	Dmitry Chepovetsky	
	マシュー・オルヴァー	Matthew Olver	